

CAE 計算環境研究会設立総会

議案書（案）

日時；平成 26 年 5 月 30 日（金） 14:00－14:45
受付開始 13:30

会場；株式会社 日立産業制御ソリューションズ
東京本社 1 階 セミナー室 A
東京都台東区秋葉原 6 番 1 号 秋葉原大栄ビル
http://www.hitachi-ics.co.jp/company/map_tokyo.html

主催；CAE 計算環境研究会
<http://www.a-caeser.jp/>

目次：

1. 総会議事次第
2. 趣意書
3. 第一号議案 会則（案）
4. 第二号議案 役員及び運営委員（案）
5. 第三号議案 組織（案）
活動計画（案）
予算（案）

1. 総会議事次第

式次第；

1. 開会
2. 発起人代表挨拶
3. 議長選出
4. 会員数と総会出席者数の報告
5. 議事；第一号議案 会則について
 第二号議案 役員及び運営委員選出について
 第三号議案 組織・活動計画・予算について
6. 代表挨拶
7. 閉会

2. 趣意書

CAE 計算環境研究会 設立趣意書

計算機シミュレーションが学術研究、企業における研究開発・製品開発に活用されるようになって40年が経過しようとしています。文部科学省のプロジェクトで神戸に整備されたスーパーコンピュータ「京」の一般共用は2012年9月末より開始され、学術利用のみならず産業界での利用にも門戸が開かれました。失われた20年を経験した今、我が国の産業競争力強化のために計算機シミュレーションの利活用に新たな期待が寄せられています。こうした中、「京」のような巨大システムは一つの求心力として大きな効果が期待されています。

一方、圧倒的に多くの企業の利用現場でのハードウェア環境は単体のPCやワークステーションレベルであり、大手企業でも数十から数百ノードのPCクラスタであり、数千並列の計算が可能な環境を持っているのは一握りの企業に過ぎません。「京」が提供する環境とのギャップはあまりにも大きいものがあります。その理由の一つは産業界で利用可能な商用の高並列アプリケーションが高価なことです。しかしながら、商用アプリケーションメーカ（ISV）も開発・バリデーションなどを多くの企業と同じ環境で行っており、昨今のシステムの複雑化への対応などに要する費用増大から高価にならざるを得ない状況が存在しています。また、ハードウェアの進歩は、計算機シミュレーションを発展させた功労者でもあります。現在は1種類のアーキテクチャに淘汰されています。このアーキテクチャでは産業用アプリケーションソフトウェアの実効性能は高々数%に過ぎません。OS(Operating System)についても、計算機シミュレーションを効率的に行える環境が提供されているとは到底言えない状況にあります。

このような現状を何とか打開したいと考え、ものづくり企業、アプリケーションソフトウェアメーカ、コンピュータメーカ、研究者の異業種・異分野の連携と協働により、CAE(Computer Aided Engineering) で必要とされる計算環境について調査・研究し、CAEに適したソフトウェアとハードウェアの実現を図るとともに、周知・普及に努め、もってものづくり企業の製品競争力の強化に資することを目的としてCAE計算環境研究会を設立いたします。

本研究会は以下のような活動を行います。

(1) CAE 計算環境の調査・研究

アプリケーションを効率よく開発し、効率よく実行できる計算機は何かということについて、調査・研究を行い、その実現を目指します。

(2) オープンワークショップ、講演会などの開催

上記の調査・研究を推進し、その成果を周知普及するためオープンワークショップ、講演会などの開催を行います。

また、CAEの普及促進を目指して情報提供を行います。

本研究会の趣旨に賛同する法人・個人の方の幅広いご参加をお待ちしております。

2014年5月30日 発起人一同

設立発起人（五十音順）

安崎 篤郎	株式会社日立製作所
石川 義明	有限会社設計生産工学研究所
石原 啓介	昭和飛行機工業株式会社
奥田 洋司	国立大学法人東京大学
北村 俊明	公立大学法人広島市立大学
黒石 浩之	株式会社ソフトウェアクレイドル
高村 守幸	株式会社富士通研究所
田中 正明	ペガサスソフトウェア株式会社
田沼 唯士	帝京大学
布広 永示	東京情報大学
福井 義成	独立行政法人海洋研究開発機構
福田 正大	元独立行政法人宇宙航空研究開発機構
松岡 浩	国立大学法人東北大学（委嘱）
丸山 悟	元茨城日立情報サービス株式会社
山県 司	株式会社日立産業制御ソリューションズ
山村 敬一	株式会社富士通システムズ・イースト

3. 第一号議案 会則（案）

CAE 計算環境研究会 会則

（名称）

第1条 本会は、「CAE 計算環境研究会（英語名：CAE Simulation Environment Research Association）」と称する。

（目的）

第2条 本会は、ものづくり企業、アプリケーションソフトウェアメーカー、コンピュータメーカー、研究者の異業種・異分野の連携と協働により、CAE（Computer Aided Engineering）で必要とされる計算環境について調査・研究し、CAEに適したソフトウェアとハードウェアの実現を図るとともに、周知・普及に努め、もってものづくり企業の競争力の強化に資することを目的とする。

【注】計算環境とは、計算機システム（ハードウェア・基本ソフトウェア）、ミドルウェア、アプリケーションソフトウェア等で構成される環境をいう。

（事業）

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- （1）CAE 計算環境の調査・研究。
- （2）第1項の研究結果の実現に必要な活動。
- （3）第1項の調査・研究を推進し、成果を周知普及するためのオープンワークショップ、講演会などの開催。
- （4）その他前条の目的を達成するために必要な事業。

（会員）

第4条 本会は、以下の会員により構成される。

- （1）正会員：本会の目的に賛同し、活動に参加する個人。
正会員は一般会員と学生会員よりなり、学生会員とは大学学部、大学院或いはこれに準ずる学校に籍を置く学生のことをいう。
- （2）賛助会員／団体会員：本会の目的に賛同し、事業を賛助・後援する企業、団体。
- （3）特別会員：本会の目的に賛同し、正会員・賛助会員・団体会員以外の方法で支援・協力する個人。

（入会および退会）

第5条 本会に入会を希望する者は、運営委員会の議を経て代表の承認を受けなければならない。

2 本会の退会を希望する会員は、運営委員会にその旨を通知するものとする。

（総会）

第6条 総会は、正会員で構成し、会の運営に関する重要事項について審議し議決する。

- 2 賛助会員／団体会員、特別会員は総会に出席し発言することができる。総会での議決権はない。
- 3 総会は、代表が招集し、委任状を含めて過半数の正会員の出席により成立する。
- 4 議案は、出席正会員の過半数の賛成で採択される。
- 5 定例総会は、年一回開催する。
- 6 年度途中において会の運営に関わる重要事項が発生した場合には、運営委員会の議を経て臨時総会を開くことができる。

7 正会員の1/5以上による総会開催の求めがあった場合には臨時総会を開かなければならない。

(役員)

第7条 本会に次の役員をおく。

代表 1名、副代表 1～2名、事務局長 1名、監査役 1名

(役員及び運営委員会委員の選出)

第8条 役員及び運営委員会委員は、総会において選出する。

(役員及び運営委員会委員の任期)

第9条 役員及び運営委員会委員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。やむを得ない事情により任期途中で役員及び運営委員会委員の交代を行う場合は、前任者の残任期間とする。

2 役員は、任期終了後でも後任者が就任するまではその職務を行わなければならない。

(役員の仕事)

第10条 代表は、本会を代表して会務を掌る。

2 副代表は代表を補佐し、代表にやむを得ない事情が生じた場合はその職務を代行する。

3 事務局長は、会計等の本会の事務全般を統括する。

4 監査役は、会計監査を行う。

(運営委員会)

第11条 本会の運営を円滑に行うために運営委員会を設ける。運営委員会委員長は本会代表が務める。

2 運営委員会は、本会の運営を円滑に行うために役員を補佐する。

3 運営委員会は、必要に応じて開催する。

(部会等)

第12条 本会は事業の円滑な遂行を図るため各種部会を設けることができる。

(経費及び会費)

第13条 本会の経費は、会費・助成金・寄付金その他の収入をもって充てる。

2 会費は、会員の種別に応じて下記によるものとし、入会時及び毎事業年度開始後3カ月以内に納入するものとする。ただし、代表者が特別の事由により会費納入の遅延を許可する場合はこれを妨げない。

・正会員

一般会員：2,000円(年額)

学生会員：500円(年額)

・賛助会員/団体会員：一口10,000円、一口以上(年額)

・特別会員：会費納入の義務なし。

3 事業年度の途中で退会した場合は、会費の返却は行わない。

(事業年度)

第14条 本会の事業年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(会則の変更)

第15条 この会則は、正会員の過半数の同意を得て変更することができる。

(その他)

第16条 この会則の施行にあたり必要な事項は代表が正会員に諮り別途定める。

附則

本会則は、平成26年5月30日より施行する。

設立発起人（五十音順）

安崎 篤郎	株式会社日立製作所
石川 義明	有限会社設計生産工学研究所
石原 啓介	昭和飛行機工業株式会社
奥田 洋司	国立大学法人東京大学
北村 俊明	公立大学法人広島市立大学
黒石 浩之	株式会社ソフトウェアクレイドル
高村 守幸	株式会社富士通研究所
田中 正明	ペガサスソフトウェア株式会社
田沼 唯士	帝京大学
布広 永示	東京情報大学
福井 義成	独立行政法人海洋研究開発機構
福田 正大	元独立行政法人宇宙航空研究開発機構
松岡 浩	国立大学法人東北大学（委嘱）
丸山 悟	元茨城日立情報サービス株式会社
山県 司	株式会社日立産業制御ソリューションズ
山村 敬一	株式会社富士通システムズ・イースト

4. 第二号議案 役員及び運営委員（案）

役員候補者

代表 : 高村 守幸
副代表 : 黒石 浩之
事務局長 : 福田 正大
監査 : 松岡 浩

運営委員会委員候補者

安崎 篤郎
石川 義明
石原 啓介
奥田 洋司
北村 俊明
黒石 浩之
◎高村 守幸
田中 正明
田沼 唯士
布広 永示
福井 義成
福田 正大
松岡 浩
山県 司
山村 敬一

5. 第三号議案

5. 1 組織（案）

研究会の活動を円滑に進めるために以下の体制とする。

I. 運営委員会

研究会の運営に関する活動を行う。

II. 各種部会

i. 普及部会

講演会・討論会等の開催、ホームページの制作など普及広報に関する活動を行う。

ii. 技術部会

C A E 向けの計算環境とはどのようなものであるか調査・研究を行う。

要件設定、開発仕様設定、開発計画、設計・製造・試験、アプリケーションによる評価方法・手順など調査・研究結果のまとめを行う。

iii. 次期組織設立準備部会

調査・研究結果の実現に必要なファンドの入手方策、ファンド入手に必要な体制に関する検討・調査を行うと共にファンド入手に向けた活動を行う。

III. 事務局

研究会の活動に必要な事務全般に関する活動を行う。

5. 2 活動計画（案）

各部会では以下の活動を行う。

I. 普及部会

i. シンポジウム開催

ii. オープンワークショップ開催

参考テーマ

言語環境・プログラミングスタイル

計算資源（ハードウェア・アプリケーションソフトウェア）利用環境

iii. S C 2 0 1 4 でのポスター展示

iv. ホームページ制作

II. 技術部会

i. C A E 向け計算環境とはどのようなものであるか調査・研究

ii. 試作研究

参考

F P G A 及び A S I C による試作プロジェクトとの連携

（要件提示、評価プログラム提供）

III. 次期組織設立準備部会

各種ファンドの調査、ファンド獲得体制の検討

5. 3 予算 (案)

収入の部

先行活動からの寄付金	241,502円
正会員収入(50名)	100,000円
賛助会員収入(10社)	340,000円
団体会員収入	1円
雑収入(シンポジウム協賛金等)	1円
利息	1円
合計	681,505円

支出の部

総会開催費	250,000円
シンポジウム等開催費	200,000円
会議費・部会活動費	150,000円
広報費	50,000円
事務費	30,000円
予備費	1,505円
合計	681,505円

【別紙】

CAE計算環境研究会 賛助会員名簿

2014年5月30日現在

アドバンスソフト 株式会社

株式会社 キャトルアイ・サイエンス

株式会社 神戸工業試験場

株式会社 サイバーテック

株式会社 ソフトウェアクレイドル

株式会社 日立産業制御ソリューションズ

株式会社 富士通アドバンスエンジニアリング

株式会社 富士通システムズ・イースト

フラットーク 株式会社

ペガサスソフトウェア 株式会社

(五十音順)